



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	17,005	16.6	402	—	455	—	623	—
2021年3月期第2四半期	14,582	△21.6	△1,019	—	△974	—	△960	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 593百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △975百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	420.17	—
2021年3月期第2四半期	△644.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	29,864	12,458	41.4
2021年3月期	29,883	11,977	39.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,371百万円 2021年3月期 11,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2022年3月期	—	60.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,500	5.8	1,300	—	1,400	—	1,000	—	672.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	1,645,360株	2021年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	164,067株	2021年3月期	157,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	1,484,468株	2021年3月期2Q	1,490,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の影響が長期化しており、景気動向は依然として厳しい状態で推移いたしました。感染症の再拡大を受け、度重なる緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の適用がなされ、経済活動の制限が続いたことによる個人消費の冷え込みから景気の低迷が続いております。また、足元では感染者数の減少が見られるものの冬季にかけての感染症の再拡大リスクが懸念されるなど、国内経済の回復の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収減益となり、ブライダル事業および建設不動産事業は増収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。

(カー用品事業)

緊急事態宣言の発令に伴う来店客数の減少に加え、前期にあったドライブレコーダー特需の落ち着きによりカー用品販売は苦戦いたしました。反面、車両販売が好調に推移するとともに、2021年3月19日に営業を開始したオートバックス利府店と2021年6月25日より営業を開始したオートバックス秋田店が業績に寄与したことにより、前年同期と比べ増収となりました。利益面については、売上総利益率の低下や新規出店費用が発生したこと等により減益となりました。

(ブライダル事業)

感染症の拡大を受け、自治体からの要請による酒類の提供自粛など、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却を進め、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(その他の事業)

コメダ事業については引き続き感染防止対策を徹底した店舗運営を行いました。また、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,005百万円（前年同期比16.6%増）となり、営業利益につきましては402百万円（前年同期は1,019百万円の損失）、経常利益につきましては455百万円（前年同期は974百万円の損失）となりました。また、役員退職慰労引当金の取崩し等により230百万円を特別利益に計上いたしました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、623百万円の利益（前年同期は960百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は29,864百万円となり、前連結会計年度末と比べ18百万円減少しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、11,807百万円（前連結会計年度末比66百万円増）となりました。主な増加要因は現金及び預金の増加（966百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、18,057百万円（前連結会計年度末比85百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（67百万円減）であります。

c. 流動負債

流動負債残高は、10,585百万円（前連結会計年度末比171百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（1,096百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、6,820百万円（前連結会計年度末比671百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（425百万円減）であります。

e. 純資産

純資産残高は、12,458百万円（前連結会計年度末比481百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（534百万円増）であります。

自己資本比率は、41.4%となり前連結会計年度末比1.7ポイントの増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は2,296百万円となり、前連結会計年度末と比べ966百万円増加しました。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、たな卸資産の減少（847百万円）などにより、703百万円の収入（前年同四半期は58百万円の収入）となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出（326百万円）などにより、273百万円の支出（前年同四半期は270百万円の支出）となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の増加（1,315百万円）などにより、536百万円の収入（前年同四半期は570百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,329,782	2,296,494
売掛金	1,519,626	1,325,603
棚卸資産	7,881,338	7,034,075
その他	1,009,897	1,151,388
流動資産合計	11,740,645	11,807,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,319,649	5,252,176
土地	6,862,838	6,862,838
リース資産(純額)	53,183	48,272
建設仮勘定	—	2,729
その他(純額)	430,764	524,610
有形固定資産合計	12,666,436	12,690,626
無形固定資産		
電話加入権	9,258	9,258
その他	56,409	55,710
無形固定資産合計	65,667	64,969
投資その他の資産		
投資有価証券	98,740	97,977
長期貸付金	20,040	19,740
長期前払費用	131,924	124,262
差入保証金	3,109,159	3,078,179
繰延税金資産	1,818,888	1,816,956
その他	252,088	184,445
貸倒引当金	△20,040	△19,740
投資その他の資産合計	5,410,801	5,301,821
固定資産合計	18,142,905	18,057,416
資産合計	29,883,551	29,864,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,731,519	1,868,724
短期借入金	4,570,076	5,666,076
リース債務	36,994	33,465
未払法人税等	560,345	360,082
未払消費税等	372,114	176,167
未成工事受入金	162,422	30,297
賞与引当金	433,564	441,921
その他	2,546,295	2,008,359
流動負債合計	10,413,332	10,585,094
固定負債		
長期借入金	4,297,172	3,871,634
リース債務	46,467	39,199
長期預り保証金	734,902	693,788
退職給付に係る負債	579,582	586,120
役員退職慰労引当金	647,000	421,500
資産除去債務	1,100,098	1,122,838
繰延税金負債	84,983	84,515
その他	2,741	1,375
固定負債合計	7,492,947	6,820,971
負債合計	17,906,279	17,406,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	9,271,896	9,806,379
自己株式	△542,620	△565,410
株主資本合計	11,868,167	12,379,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,598	21,007
退職給付に係る調整累計額	△31,110	△29,547
その他の包括利益累計額合計	△9,512	△8,539
非支配株主持分	118,616	87,592
純資産合計	11,977,271	12,458,912
負債純資産合計	29,883,551	29,864,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	14,582,579	17,005,355
売上原価	8,386,123	9,440,953
売上総利益	6,196,455	7,564,401
販売費及び一般管理費	7,215,888	7,162,218
営業利益又は営業損失(△)	△1,019,433	402,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,248	8,705
受取手数料	35,639	38,331
受取家賃	8,947	5,597
その他	27,449	30,805
営業外収益合計	80,284	83,440
営業外費用		
支払利息	24,545	20,321
その他	10,962	9,408
営業外費用合計	35,507	29,729
経常利益又は経常損失(△)	△974,656	455,894
特別利益		
固定資産売却益	—	1,154
助成金収入	84,247	25,256
役員退職慰労引当金戻入額	—	190,000
その他	2,858	14,195
特別利益合計	87,106	230,605
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	42,854
固定資産圧縮損	2,667	—
固定資産除却損	1,668	3,805
和解金	—	17,280
その他	449	1,428
特別損失合計	4,786	65,368
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△892,335	621,132
法人税等	90,550	28,430
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△982,886	592,701
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,132	△31,023
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△960,753	623,724

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△982,886	592,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,404	△590
退職給付に係る調整額	1,562	1,562
その他の包括利益合計	6,967	972
四半期包括利益	△975,919	593,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△953,786	624,697
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,132	△31,023

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△892,335	621,132
減価償却費	456,664	436,112
役員退職慰労引当金戻入額	—	△190,000
助成金収入	△84,247	△25,256
店舗閉鎖損失	—	42,854
和解金	—	17,280
引当金の増減額(△は減少)	81,384	△18,653
受取利息及び受取配当金	△8,248	△8,705
支払利息	24,545	20,321
売上債権の増減額(△は増加)	150,602	194,023
棚卸資産の増減額(△は増加)	450,899	847,262
仕入債務の増減額(△は減少)	240,202	137,204
その他	△267,916	△894,987
小計	151,551	1,178,587
利息及び配当金の受取額	2,137	2,897
利息の支払額	△24,864	△20,515
リース契約解除に伴う支払額	△449	—
助成金の受取額	73,056	14,953
法人税等の支払額	△226,927	△524,869
法人税等の還付額	84,219	52,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,723	703,418
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△264,809	△326,058
有形固定資産の売却による収入	—	1,154
無形固定資産の取得による支出	△2,057	△14,119
投資有価証券の取得による支出	△84	△87
貸付金の回収による収入	300	300
長期前払費用の取得による支出	—	△1,000
差入保証金の差入による支出	△13,244	△9,399
差入保証金の回収による収入	10,521	8,512
その他	△900	67,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,274	△273,055
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	75,000	1,315,000
長期借入れによる収入	1,100,000	—
長期借入金の返済による支出	△481,002	△644,538
配当金の支払額	△89,221	△89,166
その他	△33,820	△44,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	570,956	536,348
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	359,405	966,711
現金及び現金同等物の期首残高	1,360,023	1,329,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,719,429	2,296,494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

1. 代理人取引に係る収益認識

ブライダル事業における挙式の衣裳レンタル及び装花等に係る収益について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、総額から外注先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。なお、当該収益を売上高に計上しております。

2. 他社ポイント制度に係る収益認識

カー用品事業において株式会社Tポイント・ジャパンが運営するTポイントプログラムを提供しており、顧客の購入金額に応じてポイントを付与しております。従来は、他社ポイント付与時に販売費及び一般管理費として処理しておりましたが、他社に支払うポイント相当額を「第三者のために回収する額」として未払金に計上し、その未払金を除外した金額を売上高に計上する方法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が1,091,138千円減少、売上原価が1,003,630千円減少及び販売費及び一般管理費が87,508千円減少しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、「時価の算定に関する会計基準」第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、「時価の算定に関する会計基準」等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,337,737	597,951	1,518,360	14,454,049	128,529	14,582,579	—	14,582,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,380	57	141,916	143,353	694,290	837,643	△837,643	—
計	12,339,117	598,009	1,660,276	14,597,403	822,819	15,420,223	△837,643	14,582,579
セグメント利益又は損 失(△)	207,817	△1,674,053	456,447	△1,009,788	△10,898	△1,020,687	1,254	△1,019,433

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,762,139	1,845,680	2,255,754	16,863,574	141,780	17,005,355	—	17,005,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,260	50	120,058	121,368	694,410	815,778	△815,778	—
計	12,763,399	1,845,730	2,375,813	16,984,942	836,190	17,821,133	△815,778	17,005,355
セグメント利益又は損 失(△)	37,231	△304,828	629,379	361,782	39,003	400,785	1,397	402,183

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,091,138千円減少しております。その要因の主なもの、ブライダル事業において、売上高が1,003,630千円減少したことであります。